

AMDAミャンマー・サイクロン被害に対する緊急支援活動

弊社FIXBANDが活躍

AMDA医療チームは、日本人医療従業者・AMDA現地医療スタッフ・保険省保険局・保険省環境衛生局で編成。

ミャンマー保険省が、国際NGOに所属する外国人医療従業者に対し、被災地における診療活動を許可したのは、今回AMDAが初めてであった。

被災地クンジャンゴン市に入り、巡回診療を行っている日本からの派遣者5人(6月8日日本出発)は、被災地での支援活動を終了し、18日、帰国することになった。

弊社FIX BANDが現地で活躍しました。



小学校で検診する寺戸医師



診療を待つ患者と村の保険ボランティアに水浄化液の使用方を講習するAMDAスタッフ



簡単な取り扱い方法で迅速な処置ができるFIXBAND



子どもの頭部の傷口を診察するAMDA医療スタッフ



幼児の頭部の化膿部位を切開する寺戸医師(トーカヤンレイ村)

大量に必要なFIXBAND



寺戸通久 先生 プロフィール

昭和42年生まれ 香川医科大学卒業

大阪大学特殊救急部を経て、岡山大学救急部・医学教育統合開発センター勤務／救急専門医・外科専門医・麻酔科標榜医／JPTEC・JATEC・BTLS・ICLSインストラクター

日本政府の国際緊急援助隊医療チームとして、ミャンマー・サイクロン被害の支援活動に参加。



日程・診療者数

日付	活動箇所	診療者数
6月12日	Ma Yan(マヤン)	168人
6月13日	Taw Khayan Lay(トーカヤン・レイ)	228人
6月14日	午前 Taw Khayan(トーカヤン東) 午後 Taw Khayan(トーカヤン西)	294人
6月15日	Kungyangon South Quarter (クンジャンゴン市南)	264人
6月16日	Kamar Kaloon(カマカローン)	154人

被災状況

大型サイクロン・ナーギス(Nargis)は、5月2日夜から3日にかけてミャンマー南部を直撃した。政府発表によると、死者7万7,738人、行方不明5万5,917人(5月17日)。一方国連は、被災者は160万~250万人に上ると推定している。今後はマラリア、コレラなどの感染症の流行も予想され、二次被災者の増加が懸念されている。

